



ハートフルナース

日本の看護師に再挑戦！

受け入れ候補者決定

今年も日本の看護師国家資格取得を目指すインドネシア人元EPA看護師候補者の選抜試験をインドネシアジャカルタで実施しました。その結果、今年は8名の受け入れ予定となりました。

筆記と面接の選抜試験



選抜試験を受ける元EPA看護師候補者

前身の一般財団法人AS E A N看護師育成会も含め、日本アジア医療看護育成会にて元EPA看護師候補者の支援を始めて、今年で4年目となります。本プロジェクトは、日本で看護師になり医療技術を習得したいと一度日本に渡って国家試験に挑戦したが、願わず一旦帰国を余儀なくされていた元EPA看護師候補者を一人でも多く支援したいという気持ちから継続しています。今年も元EPA看護師候補者を支援するため、第4期生選抜試験

を実施しました。

選抜試験では、日本語力と医学的専門分野の筆記試験をそれぞれ60分、面接を一人30分行いました。選抜試験は3日間の日程で行い参加者は13名でした。その結果、晴れて選抜試験を合格した元EPA看護師候補者は、8名となりました。

選抜方法は、筆記試験と面接の総合評価です。みなさんとても向

上心が強く、日本の医療技術の習得やインドネシアの医療水準の向上などを志願理由とされていきました。再チャレンジ支援のプログラムによって、看護師国家試験合格へ導いていけるよう財団としても、尽力したいと考えています。

インドネシア看護師の育成

当財団では、過去3回の再チャレンジプロジェクトの支援によって、日本の看護師2名と准看護師4名の合格者を輩出してきました。当初はインドネシアの看護師水準の向上や日本の看護師不足の対策の一つに繋がるのではと、取り組みを行ってきましたが、それ以上に日本とインドネシアの文化や経済交流に役立つ役割があると実感しています。今後も日伊両国の懸け橋となるべく夢のある若者たちのために、支援を続けていきます。



面接の様子